【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年2月8日(2024.2.8)

【国際公開番号】WO2022/270217
【出願番号】特願2023-529735(P2023-529735)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ 57/04(2010.01)
Ｈ０２Ｋ 7/116(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ 57/04 G
Ｈ０２Ｋ 7/116

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月30日(2023.10.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊星歯車機構を収容するハウジングを有し、
前記ハウジングはクーラントが流れる流路を有し、
前記遊星歯車機構はステップドピニオンギアを有し、
前記ステップドピニオンギアはスモールピニオンとラージピニオンとを有し、
径方向視において前記流路は前記ラージピニオンとオーバーラップする部分を有し、
前記ハウジングは前記流路を有する流路付ケースと前記流路付ケースと対向する対向ケースと、を有し、
径方向視において前記流路は前記流路付ケースと前記対向ケースとの合わせ面から離れる方向に向かって延び、
前記遊星歯車機構のキャリアは差動歯車機構の入力要素と一体回転可能に接続され、
前記差動歯車機構は前記対向ケースに収容され、
径方向視において、前記スモールピニオンは前記対向ケースに固定されたリングギアと噛合する、ユニット。
【請求項２】
請求項１において、
径方向視において前記流路はモータとオーバーラップする部分を有する、ユニット。
【請求項３】
請求項１または請求項２において、
前記ハウジング内にキャッチタンクを有し、
前記キャッチタンクは前記流路と前記ラージピニオンの公転軌道とに挟まれた部分を有する、ユニット。
【請求項４】
遊星歯車機構を収容するハウジングを有し、
前記ハウジングはクーラントが流れる流路を有し、
前記遊星歯車機構はステップドピニオンギアを有し、
前記ステップドピニオンギアはスモールピニオンとラージピニオンとを有し、
径方向視において前記流路は前記ラージピニオンとオーバーラップする部分を有し、
前記ハウジング内にキャッチタンクを有し、

前記キャッチタンクは前記流路と前記ラージピニオンの公転軌道とに挟まれた部分を有する、ユニット。
【請求項５】
請求項４において、
前記ハウジングは前記流路を有する流路付ケースと前記流路付ケースと対向する対向ケースと、を有し、
径方向視において前記流路は前記流路付ケースと前記対向ケースとの合わせ面から離れる方向に向かって延びる、ユニット。
【請求項６】
請求項４または請求項５において、
径方向視において前記流路はモータとオーバーラップする部分を有する、ユニット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明のある態様におけるユニットは、
遊星歯車機構を収容するハウジングを有し、
前記ハウジングはクーラントが流れる流路を有し、
遊星歯車機構はステップドピニオンギアを有し、
前記ステップドピニオンギアはスモールピニオンとラージピニオンとを有し、
径方向視において前記流路は前記ラージピニオンとオーバーラップする部分を有し、
前記ハウジングは前記流路を有する流路付ケースと前記流路付ケースと対向する対向ケースと、を有し、
径方向視において前記流路は前記流路付ケースと前記対向ケースとの合わせ面から離れる方向に向かって延び、
前記遊星歯車機構のキャリアは差動歯車機構の入力要素と一体回転可能に接続され、
前記差動歯車機構は前記対向ケースに収容され、
径方向視において、前記スモールピニオンは前記対向ケースに固定されたリングギアと噛合する。